

図書だより

図遊学館よも～よ ☎582-5388

今月のおすすめ

あの時に想いをはせて



一般書

■ミチノオク

佐伯一麦：著（新潮社）

震災から十余年、故郷東北を再発見する旅で出会う、歴史と人の心のオク。数々の天変地異に見舞われながら、ミチノクの人々はひたむきに生き、確かな文化や習俗を育んできた。仙台市在住の作家が辿る、現代の「おくのほそ道」。東北で生きる人々の人生の曲折を、還暦を迎えた自身のこれまでと重ね合わせて描く、九つの紀行小説集。

■桃太郎のユーウツ

玄侑宗久：著（朝日新聞出版）

福島在住の僧侶作家が震災、コロナ禍のもとで、大きなユーウツと見え隠れする希望を描く六つの作品集。母親を亡くした少女の切なさに僧侶が寄り添う「セロファン」、復興住宅に住む老人がこだわる「火男おどり」、近未来〈独り暮らし基本法〉施行下で命の交流を問う「繭の家」、除染作業員・桃太郎の鬱々とした心の行方をコミカルに追う表題作。



一般書



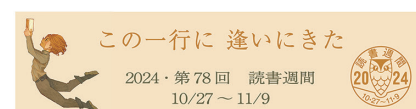
読書週間企画

よみくじを引こう！

遊学館「よも～よ」では、10月27日から11月9日の読書週間に合わせて、「よみくじ」をモチーフにした「よみくじ」を配布します。

期間中、来館して本を借りると、1日1回「今日の運勢」や「おすすめの本や作家」が載っている「よみくじ」を引くことができます。

大吉、中吉などの運勢の種類によって、景品をプレゼント。エコバッグや飲み物など、今年は選べる景品を用意していますので、期間中何度も足を運んでみてください。この機会に、たくさんの本に出会い、読書の幅を広げてみませんか。



INVITING COMMUNITY
ZONE FOR EVERYONE

生涯学習だより

涼しい～！蔵王で自然満喫！

夏休み最後にバスでお出かけ

キッズスクール「蔵王へ行こう！」が8月20日に行われ、小学生の会員6人が宮城県蔵王方面を訪れました。はじめに、蔵王ハイラインを上って、「御釜」へ。下界に比べて、気温が10度低く、「桑折町にこの涼しい風を持ち帰りたい」という声も。エメラルドグリーン色の湖面を眺め、楽しくおしゃべりしながら、山頂を目指しました。途中霧に包まれたり、山野草を観察したりしているうちに、熊野神社に到着。一人一人御朱印を押した後、大自然のおいしい空気を吸いながら、仲良く昼食をほお張りしました。次に、白石市の「ことりはうす」に移動し、木材で小鳥の形をしたブローチづくりに挑戦。好きな鳥の種類を選び、個性あふれる作品ができました。本事業では、町内4校の小学4～6年生を対象に、学校では体験できないことを楽しく学びます。随時会員募集中です。

Information

部活動指導員 外部指導者募集中！

町では、醸芳中学校の部活動における指導員を募集しています。

部活動指導員とは、学校長の監督のもと、顧問の代わりに単独で指導・引率ができる方。外部指導者とは、顧問の教諭と協力しながら、技術的指導を行う方です。

中学校の部活動で、あなたの経験を活かしてみませんか。詳しい活動条件や報酬などは、右記をご覧ください。



マルベリーこおり

図事務局 ☎582-3129

初心者も大歓迎！参加者募集

ノルディックウォーキング教室

2本の専用ポールを使って歩くことで、足腰にかかる負担を軽減します。また、腕を使うことで上半身を使い、全身の約90%の筋肉を動かす有酸素運動としてもおすすめです。初めてでも安心！JNFA公認インストラクターが丁寧に指導します。

■開催日 毎週木曜日

■時間 9:30～11:30

■場所

《元気に歩くロングコース》

奇数週／だてかベジフル前

《ゆったり歩くショートコース》

偶数週／ふれあい公園

■参加料

会員500円／未会員700円

※別途レンタルポール300円



ヤクルト工場へ 大人の社会科見学

「大人の社会科見学」が8月27日、(株)ヤクルト本社福島工場で行われ、参加者22人が商品の製造工程を学びました。はじめに、会社の歴史や工場で生産している商品について、案内担当者に紹介いただきました。その後、見学通路に移動し、生きたまま腸に届く乳酸菌を育てるところから、ロボットによって包装・箱詰めされていく過程を見学しました。普段目にするのしない工場を見ることができ、帰りにお土産もいただき、参加者は満足そうな様子でした。



お札のひみつ 新紙幣の特徴学ぶ

成人講座「お札の秘密発見」が日本銀行福島支店の菊地美紗季さんを講師に迎え、8月30日に半田公民館で行われ、12人が参加しました。前半は日本銀行の役割、後半は新札の秘密を学びました。新札の偽造防止の技術は、①肖像や額面などがざらざら②世界初の透かし模様③3Dホログラム④コピー機で再現できない超精密画線やマイクロ文字など10種類あり、参加者からは驚きの声が上がりました。新札の秘密に、改めて日本の技術のすごさを感じました。



食べ物の入口 歯と口の健康講座

成人講座「歯と口の健康講座」が8月6日、イコーゼで行われ、19人が参加しました。講師は、県北福祉事務所主任医療技師の根本亜希子さん。歯科衛生士としての勤務経験から、歯や口を健康に保つための具体的な方法を教えていただきました。参加者から出された歯磨きや歯ブラシ選びに関する質問にも、詳しく答えていただきました。参加者からは「年に1度は歯科医で検診を受けることが大切であるという話が印象的だった」などの感想がありました。